



三島高校講堂

愛媛県内には、学校建築で良質な戦前期の建物が比較的多く残されている。国登録有形文化財の旧制松山高校講堂や、西予市宇和町の国重文開明学校、市文化財旧宇和町小学校（現米博物館）などはその例であるが、比較的知られていない物件が他にもあり、ご紹介しておきたい。

まずは、四国中央市にある三島高校の講堂。近年は映画「書道ガールズ」ですっかり有名になった高校。大正12年に旧制三島中学校とし

“MY TOWN” うおっちゃん
歩キ目**デ**ス
 & **足**ラ**テ**ス

Vol.60

県内高校レトロ建築巡り

岡崎 直司

タウンツーリズム講座主宰・
 ヘリテージマネージャー



エンタシスの柱



バットレスの並び

て開校し、当時の講堂がそのまま残る。今は剣道場や卓球場などに利用されている。外観の特徴は、バットレス（控え壁）の並び。今でも現役使用に耐えうる重要な耐震構造の部分と思われる。外壁は、洗い出しの左官仕上げとなっていて、目を地を入れることで木造を意識させず、あたかも西洋の石造建築のように見せている。内部は、洋風の漆喰装飾で飾られた「持ち送り」で桁材を支えられ、キャピタル（柱頭飾り）付きの



講堂内観

豊かだった。今に伝わる西条祭りの豪華さは、そうしたゆとりDNAがもたらす由縁かも知れない。

中予からは、久万高原町にある上浮穴高校の講堂「知今堂」。こちらは昭和19年の建築。船田一雄という人物の寄付によって建てられた。船田は同町明神の出身で、三菱商事の本社理事長にまでなる人物。内部は天井意匠が美しく、ステージ脇には船田の書「知今堂」や安倍能成の扁額「向上心変非常」が掲げられている。安倍は松山出身の哲学者であり教

角柱は、よく見ればエンタシス様にふくらみを持たせている。

県内で唯一の藩政時代の大手門が正門となっているのが、西条高校。風格ある幅広な水濠に囲まれた三万石の陣屋跡。小藩とは言え、ご三家紀州徳川の分家で、藩主は江戸常勤で参勤交代が免除という特権を有していた。その余力が禎瑞などの新田開発を促し、藩は



西条高校



屋根裏のトラス



上浮穴高校・知今堂



船田一雄の書



天井の意匠

育者、夏目漱石の門下である。屋根裏の変形トラスは大空間が確保され、久万林業の優良材が使用されている。大洲高校には、中江藤樹の至徳堂が存する。ただし、この建物は昭和14年の復元で、日立の佐賀関製錬所所長だった窪田哲次郎の寄贈による。窪田は、大洲高の前身旧宇和島中学大洲分校の卒業。至徳堂は、現在茶道部などの練習に利用されているが、藤樹の教え「知行合一」が、今でも同校の教育に一環として流れて精神的支柱として連綿と受け継がれているのであれば素晴らしい。最後にミニ水族館で地域貢献している長浜高校の歴史メモリアル。建物ではないが、片隅に建つ西村兵太郎の銅像をご紹介します。西村は伊方町二名津に生まれるが、幼時に長浜へ転居、後に31歳の若さで長浜町長となり数々の事業を実施して辣腕をふるう。水産界にも貢献し、喜多郡漁業組合連合会の設立、愛媛鉄道建設、県下初の水道事業や一世を風靡した水族館建設、あるいは国登録有形文化財として今に

現役の長浜開閉橋など、その功績は枚挙に暇がない。長高水族館はそうした背景もあつてのこと。しかも彼は、子規の影響で笑波という俳号を持ち俳誌「シブキ」も発行、且つ県議会議長にもなるといふスーパーマルチ人間であつた。



大洲高校至徳堂



至徳堂の内観



西村兵太郎像



中江藤樹像